

## 9.八菅山いこいの森（神奈川県中部）

本厚木駅からバスで約 30 分、一本松バス停で下車します。西方向に歩いて中津小学校を過ぎると中津川を見下ろす所に出ます。ここから、中津川の対岸に八菅山が見えてきます。

この山は常緑のスギやスダジイの高木が多いため、周辺の山と比べると緑色が濃く、こんもりとした感じがします。中津川へ下って行く途中の陸橋の下は雑木林で、秋から冬にはツグミ・シメ・ジョウビタキなどが見られます。

中津川の両岸は田んぼが広がり、八菅橋周辺では水辺や草原性の鳥が観察できます。運が良ければヤマセミが見られることもあります。またオオタカ・チョウゲンボウ・トビなどの猛禽類もよく見られます。川を渡り車道沿いに竹林や畑の中を歩いて行くと、秋にはツグミやアカハラが熟した柿の実を食べているのが見られます。

まもなく八菅神社の入口に着きますが、八菅神社は行基菩薩の開創と言われ、かつては 50 余の坊舎がある山伏の修験道場でした。神社の入り口には「蓬萊に聞かばや伊勢の初便り」の芭蕉の句碑も建っています。鳥居をくぐり少し登ると約 300 段の石段を上る道と車道を登る道に分かれます。

探鳥では普通車道を登りますが、神社までのコース沿いはスギやスダジイの林で、1 年中メジロやカラ類の多いところです。神社から展望台へかけての雑木林の尾根道は、カラ類のほか、冬にはジョウビタキやルリビタキの見られるところです。

展望台からトンボの池にかけての道もカラ類の多いところで、冬から春にかけてはウグイスの声がよく聞かれます。大きなコイの泳ぐトンボの池では、カワセミを見ることもあります。近くのスギ林から夏にはサンコウチョウの鳴き声が聞こえてくるこ



東屋

所要時間 2 時間  
地形図：1:25,000 上溝

季節

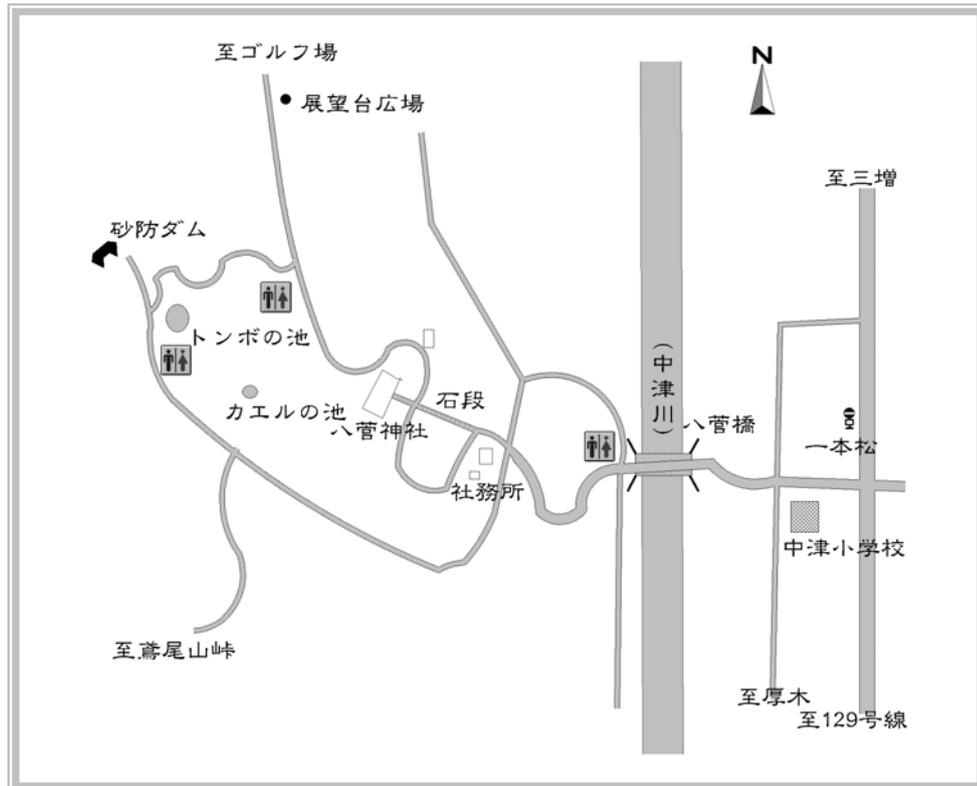
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

## 9.八菅山いこいの森（神奈川県中部）

ともあります。また、この池の周辺ではホタルの観察もできます。ホタル観察のついでにムササビも見ることがあります。

車道に出て左に道を下れば神社の入り口に返りますが、沢沿いのヤブは冬にはシロ

ハラやアオジの多いところ です。時間と体力に余裕があれば、右に道を登って鳶尾山まで足を伸ばされることをお勧めします。このコースでは冬にはベニマシコ・ミヤマホオジロなども見られます。（角田繁和）



観察できた鳥（1998年1月～2000年5月）

八菅山

ノスリ・サシバ・コジュケイ・キジバト・アオバト・アオバズク・フクロウ・アオゲラ・アカゲラ・コゲラ・ヒヨドリ・モズ・ミソサザイ・カヤクグリ・ルリビタキ・ジョウビタキ・アカハラ・シロハラ・ツグミ・ヤブサメ・ウグイス・センダイムシクイ・キクイタダキ・キビタキ・オオルリ・サンコウチョウ・エナガ・コガラ・ヒガラ・ヤマガラ・シジュウカラ・メジロ・ホオジロ・カシラダカ・アオジ・カワラヒワ・ウソ・イカル・シメ・スズメ・ムクドリ・カケス・オナガ・ハシボソガラス・ハシブトガラス・ガビチョウ

中津川

カワウ・ゴイサギ・ダイサギ・コサギ・アオサギ・カルガモ・ミサゴ・トビ・オオタカ・チョウゲンボウ・イカルチドリ・イソシギ・ユリカモメ・アマツバメ・ヤマセミ・カワセミ・ツバメ・イワツバメ・キセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイ・タヒバリ・セッカ

あし

- ・小田急本厚木駅下車 神奈川中央交通バス バスセンターより「愛川町役場」または「上三増」行 一本松バス停下車
- ・交通機関問い合わせ先：ページ117参照